

パキスタン Pakistan

子どもたちに希望をもたらす新しい学校

パキスタン北西地域にあるマンセールでは、経済的な理由により、児童の就学率は36%ほどしかありません。J&Jは、子どもたちに質の高い教育を低額費用で提供する小学校の建設を支援。2008年8月に小学校が開校しました。この取り組みは2005年に発生したパキスタン北部地震の復興支援の一部でもあります。



インド India

視覚障害者の自立を促すために

インドには約1,500万人の視覚障害者がいます。十分なコミュニケーション力やスキルを身につけることができず就労に支障を来しています。J&Jインドでは2008年から視覚障害者が自立するための活動を支援しています。J&Jの支援により実施された教育訓練を受けた方が大手企業に採用されている例もあります。



タイ Thailand

子どもたちに教育機会を提供し、健康増進を図る

タイ最北地域のパーンマーパーで生活する多くの住民はミャンマーからの難民で、タイの社会保障を受けることができません。子どもたちの多くは低体重や栄養失調で健康面に問題があり、基礎教育を受ける機会もほとんどありません。J&Jタイは、子どもたちの健康を増進し、教育の場を提供するプログラムを実施しています。

オーストラリア Australia

ガン治療を受ける子どもたちに 痛みを忘れさせる 屋外プログラムを提供

J&Jオーストラリアは、ガン治療を受けている子どもたちに対する支援を継続して行っています。病院を離れて屋外で楽しく過ごすことで、病気のことを忘れてもらうのが目的です。J&Jの社員は寄付金集めやキャンプでのボランティア活動などを積極的に行っています。



アジア・パシフィック地域での活動

世界中の人々が健康で幸せな生活を送れることを目指して

香港 Hong Kong

子どもたちの積極性を
引き出すプログラムを実施

香港の子どもの7万9,000人以上(約1割)が、失読症、書字障害および計算力障害などの特異性学習障害(SLD)を持っていると言われていいます。J&J香港は、SLDを持つ子どもたちにサポートサービスと教育を提供するプログラム「Lively Children, Happy Parents」を支援しています。



中国 China

女性出稼ぎ労働者に HIV/エイズ予防を啓発

中国のHIV感染の多くは雲南省と四川省で発生しています。J&Jは中国・清華大学のエイズ総合研究センターが運営する「農村部出身の女性出稼ぎ労働者に対するHIV/エイズ予防プロジェクト」に協力。性感染症への知識が少なく、特にリスクが高いと考えられている女性出稼ぎ労働者の感染率低下に集中的に取り組んでいます。



シンガポール Singapore

J&J社員が高齢者との交流に参加

経済が発展して人々の生活水準が上がると死亡率が下がり、高齢化が進みます。シンガポールでも高齢化が進んでおり、2050年には世界で四番目に高齢者人口が多い国になると予想されています。HOPE for Seniorsプログラムは、世代を超えた交流を図り、すべての参加者が年齢を重ねることにポジティブになるよう働きかけるものです。J&Jグループの40名ほどの社員が参加し、高齢者との交流を深めました。



マレーシア Malaysia

虐待被害者の自立をサポート

マレーシアでは、虐待を受けた女性や子どもたちが、家族の支援もなく十分な収入がないため自立できないケースが多く見られます。そこでJ&Jはマレーシアで「危機的状況にある女性と子どもに対するエンパワメント」活動に取り組んでいます。虐待を受けた女性への職業訓練や教育サポート、被虐待児への遊戯療法によるこころのケアなどを行っています。



親善大使紹介

J&Jの社会貢献活動を
より意義のあるものに

アジア・パシフィック地域のJ&Jでは、自ら積極的に社会貢献活動に取り組み、地域の代表として活動する「アジア・パシフィック社会貢献親善大使」を毎年任命しています。2009年度はヤンセンファーマ(株)の加藤舞が任命されました。各国の親善大使との交流やプログラム視察から得た情報や自身の体験を日本のJ&Jグループにフィードバックし、より意義のある活動を推進することが親善大使の役割です。

アジア・パシフィック 社会貢献親善大使
ヤンセンファーマ(株) 加藤 舞

